

## 「食品期限表示の設定のためのガイドライン」改正案に関する意見募集について

【※氏 名】[日本生活協同組合連合会 ]  
 【職業（任意）】[生活協同組合 ]  
 【※住所】[東京都渋谷区渋谷3-29-8 コーププラザ]

### 今回の改正内容に関する意見

御意見の表題	御意見・理由
1. 趣旨について	<p>食品ロス削減の観点から、まだ食べることができる食品が廃棄されないようにすることは重要です。一方で、安易に根拠なく安全係数を1に近づけることは消費者を巻き込む品質トラブルにつながる可能性があり、期限の設定を行う食品関連事業者等は、製造時の（加熱工程等における）ばらつきや、フードサプライチェーン全体における温度状況等の外的な変動要素なども考慮した、科学的・合理的な根拠に基づく期限の設定及び安全係数の設定を自ら考え、評価し、行う必要があると考えます。これを踏まえ、「1. 趣旨」の6行目以降を以下のように修正することを要望します。</p> <p>期限の設定を行う食品関連事業者等は、本ガイドラインを踏まえ、食品の特性、<u>工程のばらつきや、フードサプライチェーン全体における温度状況等の外的な変動要素も考慮しつつ</u>、科学的・合理的な根拠に基づく期限の設定及び安全係数の設定を自ら考え、<u>評価し、行うことが期待される。</u></p>
2. (3) 食品の特性等に 応じた「安全係数」の 設定について	<p>原案では安全係数を1に近づけることが強調されすぎているように思われます。安易に根拠なく安全係数を1に近づけることは消費者を巻き込む品質トラブルにつながる可能性があります。安全係数の設定においては、食品の特性のみならず、製造時の（加熱工程等における）ばらつきや、物流等の外的要素など幅広い要素を考慮した上で、科学的・合理的な根拠に基づき設定することが原則と考えます。これを踏まえ、「2. (3) 食品の特性等に 応じた「安全係数」の設定について」のイの93~94行目は以下のように修正することを要望します。</p> <p>イ. <u>期限の設定を行う食品関連事業者等は、食品の特性、工程の</u></p>

	<p>ばらつきや、物流等の外的な変動要素等も考慮しつつ科学的・合理的な根拠に基づき、安全係数を設定すること。また、食品ロス削減の観点から、過剰に小さな数字ではなく、可能な範囲で1に近づけること、また、差し引く時間や日数は0に近づけることが望ましい。</p>
--	--